

薩木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

金沢の歴史散歩

過日鎌倉歴史観光の資格を持つ大学の後輩に案内してもらい金沢の歴史散歩をした。

古くからの景勝の地金沢には源氏・北条氏ゆかりの社寺があり、また江戸時代、歌川広重をはじめ多くの絵師によって描かれた「金沢八景」歴史と景勝の地に徳川家康も何度か訪れたといわれます。彼の解説を聞きメモを取りながら歴史散歩を楽しんだ。

最初に訪れたのは称名寺。金沢北条氏初代とされる金沢(北条)実時が金沢の地に別荘を設け、その邸内に持仏堂を造りその後称名寺と改められたそう。金沢北条氏の菩提寺として鎌倉時代を通じ発展したが鎌倉幕府の滅亡とともに金沢北条氏も滅び一時衰退した。

仁王門、浄土庭園、金堂、釈迦堂 梵鐘、北条実時廟所等を見学した。

次に金沢文庫に行った。ここは北条(金沢)実時が設けた文庫で幼少から読書を好み蔵書は宗教・政治・文学・歴史など多岐にわたった。鎌倉幕府滅亡後、蔵書は菩提寺である称名寺で管理され、その蔵書に「金沢文庫」の墨印が押されたそう。現在の県立金沢文庫は昭和5年設立に設立され鎌倉時代の貴重な文化財を保管し調査・研究する博物館として運営されているそう。平成28年にはここが管理する「金沢文庫文書」と「称名寺聖教」の文書が日本中世の政治・経済・文化等の貴重な文献群として国宝に指定されたそう。

次に訪れたのは薬王寺。鎌倉幕府を開いた源頼朝の弟源範頼は曾我兄弟の討入で頼朝に疑いをかけられ伊豆修善寺に流され謀殺され範頼別邸の地に葬られ称名寺建立時に現在地に移されたといわれているそう。

次に訪れた金沢八幡神社はここも歴史があり、金沢文庫に残る称名寺2代長老の書状によると「称名寺金堂の屋根を葺くための檜皮を積んだ船が野島に着き、それを瀬戸の内海の中へ入れ、八幡宮の前で荷揚げした」と記されているから鎌倉時代にはすでに存在していたと考えられるそう。

次に訪れた瀬戸神社。源頼朝は挙兵に際し三嶋明神(三島大)のご利益を賜ったことから古くから海神が祀られていた瀬戸に三嶋明神を勧請した。それ以来、六浦湊の守り神として鎌倉幕府から篤く保護された。金沢北条氏、鎌倉公方足利氏、小田原北条氏にも崇敬され徳川家康も天正19年に参詣し、100石もの社領を寄進され別格の扱いを受けたとされる。

この神社裏手一体の森は横浜市天然記念物となっている。また、境内の榎木(かや)は樹齢700年といわれ横浜市天然記念物、そして境内には全国から集められた数百の丹精こめて栽培されているヤマアジサイが見事に咲いていて感動した。これは一見に値すると思う。

歴史散歩の最後は金沢八景駅の裏にある権現山公園。公園名の権現山とは1802年に建てられたとされる旧圓通寺客殿の裏山で、かつては山腹に東照宮があり圓通寺はその別当寺であった。徳川家康は生前、この山から望む金沢の景観を気に入って慶長5年(1600)の関ヶ原の戦いの直前、会津・上杉征伐に向かう途中にこの地をおとずれた。

また晩年、駿府に隠居してからも江戸に赴く際に立ち寄ったといわれる。平成28年には金沢シーサイドラインの京急線・金沢八景駅への延伸工事とともに公園として整備され、旧通寺客殿は解体調査の後、復元された。

1. 前回運営会以降の活動実績

- 5月20日(土) 18名 土置場整備 シイタケ林整備 製材 ZFC 運営会
 5月24日(水) 11名 炭小屋作業
 5月26日(金) 5名 炭小屋作業 本窯炭焼き前乾燥 小屋内整理
 5月27日(土) 21名 森の作業体験(間伐、木工) 炭焼き本窯ドラム缶 シイタケ林整備 ZFC 通信発送
 5月28日(日) 10名 炭焼き本窯
 5月31日(水) 11名 7区玉切、整備 炭小屋作業
 6月3日(土) 台風後、予報により活動休止
 6月7日(水) 10名 炭小屋作業 炭焼き窯出し
 6月10日(土) 19名 製材 森ボラ準備(粗朶柵づくり) クヌギの林草刈(平地)、クヌギ実生採取 クヌギの林勉強会
 6月14日(水) 10名 炭小屋作業 ピクニック広場草刈
 ※地域社会との交流(作品展示と森の紹介):販売実績

	3-6日	10日	13日	17日	20日	24日	27日	28日	31日
販売	¥59,450	¥1,100	¥200	¥3,700	¥3,600	¥800	¥15,800	¥4,600	¥2,500

2. 連絡、確認、提案

- ①総会にて決定した炭焼き窯解体(千葉御宿、石井家の窯)と炭釜用土の譲受について、有志にて作業実施予定 6/19-6/20)
 ②炭焼き速報 2023/5/27-28
 <本窯>炭材 359.4kg 良炭 36.3kg ぐず炭 10.3kg(収炭率 13.9%) 未炭 26.2kg 木酢液 40 L
 <ドラム缶#1>炭材 95.5kg 良炭 14.9kg ぐず炭 1.5kg(収炭率 17.1%) 未炭 3.7kg 竹酢液 2.5L
 <ドラム缶#2>炭材 65.4kg 良炭 4.4kg ぐず炭 1.7kg(収炭率 9.3%) 未炭 0.0 竹酢液 3.2 L
 報告書は追って出されます。
 ③クヌギの林植生調査報告
 ④全反省会(炭小屋裏作業道の改善など)

3. 今後の活動予定

- 6月17日(土) ホダギ本伏せ 製材 クヌギの林草刈予備 ZFC 運営会
 6月18日(日) 森をまもるボランティア(粗朶柵づくり及び木工体験)
 6月21日(水) 炭小屋作業 ゴロ報・ZFC 通信印刷発送
 6月24日(土) クヌギの林伐倒 ゴロ報・ZFC 通信印刷発送予備 製材
 6月28日(水) 炭小屋作業 クヌギの林搬出路草刈 製材
 7月1日(土) クヌギの林玉切材搬出
 7月5日(水) 炭小屋作業 クヌギの林草刈(予備) 薪づくり 製材
 7月8日(土) 炭小屋裏伐倒玉切
 7月12日(水) 炭小屋作業 製材 薪づくり
 7月15日(土) 炭小屋裏玉切材引揚げ 運営会
 7月16日(日) 定例会
 7月19日(水) 炭小屋作業 製材 薪割り
 7月22日(土) クヌギの林伐倒(トウネズ) 木工工具勉強会 ZFC 通信発送
 7月26日(水) 炭小屋作業 クヌギの林伐倒(トウネズ)予備 製材
 7月29日(土) クヌギの林伐倒伐倒玉切 炭小屋内整理